

ミラクルソル協会

環境、斜面防災など

18年度技術研修会を開催

技術者約130人が知識深める



ミラクルソル協会
(原裕理事長)が主催
する2018年度第26
回講義を行う原裕理事長

回技術研修会が25日、
唐津市高齢者ふれあい
会館「ひふれ」であつ

た。官公庁、建設コン
サルタント会社、建設
会社などから約130
人の技術者が参加し、
環境や斜面防災、維持
管理技術について知識
を深めた。

技術研修会はミラク
ルソル協会の主催で、
▽佐賀県ジオファイバ
ー協会▽佐賀県ニュー
レスパ協会▽SSLア
ンカー協会▽多数アン
カー式補強土壁協会一
の4団体が共催。2部
構成となっており、環
境、斜面防災、アンカ
ー工や道路土構造物の
維持管理をテーマに様
々な研修が行われた。

続き、地球温暖化との
関連が指摘されてい
る。地球温暖化は急速
に進み、いろいろな分
野で影響を及ぼしてい
る」と説明し、地球温
暖化対策の必要性を強
調した。

講義ではガラス廃材
でつくったミラクルソ
ルの製造方法や特長、
ミラクルソルを使った
透水性舗装工法や軽
量盛土工法、緑化工法
などを紹介し、「工法
選定の段階で安全・機
能性や経済性に加え、
環境および耐久性の指
標を持って工法を選ぶ
必要がある」と話した。

した法面補強のノ
ンフレーム工法、
斜面安定対策およ
び落石予防の高強
度ネット工法の特
長や施工事例など
を解説した。

第2部では国土
防災技術(株)佐賀支
店の井上太郎支店
長が「SSLアン
カー工法およびア
ンカー工の維持管理に
ついて」、岡三リビッ
ク(株)技術開発部の小浪
岳治部長が「道路土工
構造物の維持管理の現
状と動向」の演題で研
修を実施した。

このほか会場では、
パネルディスカシオン
や質疑応答なども行わ
れた。



会場の様子